

# よこはま都市消防



公益社団法人 横浜市防火防災協会  
Yokohama Disaster Prevention



横浜市消防局震災作業車 写真：近藤美樹さん

巻末

令和6年度  
■救命講習・応急手当普及員講習  
■防火・防災管理講習  
日程決まる

# 62号

1 4月 7 10

| 2024 | Spring |

目次／フォト収集 ..... 1

消防車は語る(第16回) ..... 2  
 世界で最も強力なポンプ自動車

横浜消防の近代史 ..... 3~4  
 横浜市中消防団の源流(前編)

潤滑油と触媒 ..... 4  
 消防用設備等と防火管理者の役割~日常点検の重要性~

「減災新聞」の視点 ..... 5~6  
 「命守る住まい」を増やす

令和5年度 防災講演会開催報告 ..... 6

防災の取り組みにアシスト ..... 7~8  
 地震時の大規模火災は1件の火災から

横浜消防トピック 119 ..... 9~10  
 令和6年能登半島地震に伴う緊急消防援助隊の派遣について  
 中消防団誕生!  
 横浜市消防音楽隊「躍進~明るい未来へ~」

人的エラーからの脱却 X ..... 11

防災よもやま話 ..... 12  
 防災士学習のススメ

私の趣味 NO.8 ..... 13~14

好評連載 ..... 15~16

- 新約消防白書 日本の常識、世界の常識へ
- コラム 妄言多謝 ● 横浜路地裏日記
- わたしのベストショット ● 朝食はコレ!

編集後記

巻末特集ページ

- 講習紹介コーナー 救命講習
- 令和6年度 講習日程表  
 令和6年度 救命講習日程表  
 令和6年度 防火防災管理者講習日程表

常楽寺「ぼたもち寺」  
 画：渡邊 雄二



横浜

壁面緑化そのII  
 撮影地：神奈川県金港町横浜ベイコオター  
 作者：天野 義照



「フォト収集」#26

鉄道

向日葵日和 作者：中久喜保  
 撮影地：岩手県遠野市



花

華桃 作者：M・N  
 撮影地：長野県阿智村



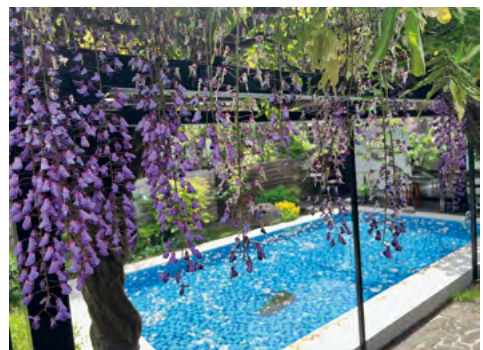
山

残雪の安達太良山 作者：武笠基和  
 撮影地：福島県



鎌倉

歓迎 作者：有賀 太重  
 撮影地：旧横山隆一郎(現スタバ)





## 世界で最も強力なポンプ自動車

ギガンテック消防自動車 アメリカ ニューヨーク市 1965年ころ

計量の国際単位メガを超え、さらにギガを超える大きさや能力を持つ消防車として『ギガンテックポンパー』のニックネームがついた。1960年ころニューヨークの『摩天楼』と称される超高層ビルを更に超えるビルの建設ラッシュが始まっていた。新ビルの防火対策は消防用設備により担保されるようになったが旧超高層ビルは消防車と消防隊員の活動が必要とされていた。

一般的に米国の消防車は大型強力であるが水力・物理的に限界を超えることはできない。それを承知でシンボリックな高圧ポンプ、大放水量の消防車を製作したようである。

この消防当局の懸念は、1920年ころのアーレンフォックスを、2000年を超えても実動予備車として温存していたことから窺える。防火思想の発達していた米国ではビル火災が少なく特に超高層ビルの火災でギガポンプが活躍しているシーンは伝えられていません。

この消防車とペアを組むのが通称『Big Moo』と言われる放水砲車ですが、ギガポンパーのトラクターヘッドと同じ車体に牛の角に見立てた巨大放水砲（ノズル口径35cm）を搭載した想像を絶する威力を持つ存在として知られていました。このペアのスペックは資料が少なく、記載できないのが残念です。

### エピソード

1960年代の大きさを表す表現は、現代のように豊富ではありませんでした。

巨人伝説は『ダイダラボッチ』など各国にありますますがそれを超える表現は貧弱でした。核兵器の実験ではその威力を『メガトン』で表し、過酷な威力を知らしめていました。

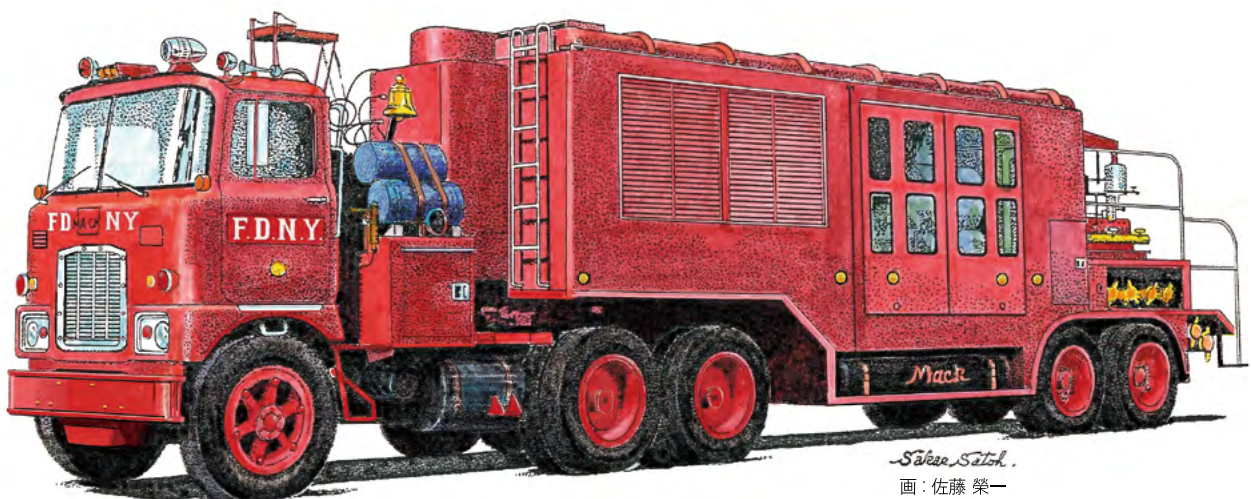
そのころ、『ギガンテック』は空想に近い恐竜『ギガントザウルス』で知られ始めた言葉でした。（ギガントザウルスの化石は1993年発掘）その後、PCの記憶容量としてギガバイトが日常用語になり、その大きさが理解されることになりました。

1970年になると『ジャンボ』が表現されました。意味は巨大な象ということです。『ダンボ』は、わが国では、巨大な耳を持つ小象と解されていますが『dumb』の意味があり、人権や差別用語として配慮が必要なキャラクターだそうです。



防災・生活安全 がもん 我聞塾  
**佐藤 榮一**

イラストのサインSakaelは榮一の 榮 で高校時代から使用しています。



Sakae Eiji.  
画：佐藤 榮一

# 横浜消防の近代史

横浜都市発展記念館

主任調査研究員 吉田 律人

## 横浜市中消防団の源流〔前編〕

### 横浜市中消防団の誕生

2024(令和6)年4月1日、横浜市中区の地域防災を担ってきた伊勢佐木消防団、加賀町消防団、山手消防団の3団が統合し、新たに「横浜市中消防団」が誕生した。3つの消防団ともにおよそ130年の歴史を有する組織で、その統合は横浜の消防の歴史を考へても大きな転換点である。これによって横浜市内18区に、1つの消防署(常備消防)と1つの消防団(非常備消防)が配置される体制となった。そこで今回と次回、中消防団の誕生を記念し、源流となる3つの消防団のあゆみを追っていききたい。ただし、紙幅の関係上、各団の詳細について述べるのは難しいので、近代日本の消防史において大きな転換点となった①消防組規則、②特設消防署規程、③警防団令、④消防団令の4つの法令と、伊勢佐木・加賀・山手の3つの消防組織との関係についてひも解いていく。

### 警察署と公設消防組

消防技術の変革は消防組織の改編を促す。1887(明治20)年10月、日本初の近代水道が横浜に布設されると、神奈川県は水道消火栓の整備を進め、消防の水利は大幅に改善された。同時期、1884年12月16日制定の消防規則及び消防細則に基づき、横浜警察署・居留地警察署の指揮下に第1から第6の消防分隊があった(神奈川県警察本部編『神奈川県警察規則』神奈川県警察本部、1887年、268~285頁)。各分隊は蒸気ポンプや腕用ポンプを運用して消火活動にあたったが、消火栓の運用が良好だったため、1888年4月に廃止されることになった。消防分隊を管理する神奈川県警察は、構成員の消防人足がたびたび問題を起こしていたため、その一掃を図ったのである。これによって従来の消防人足たちは私設の消防組織へと流れていった。横浜に限らず、各地域の消防組織はそれぞれの土地の慣習・文化等によって大きく左右されており、警察による統制が課題となっていた。

1894年2月3日、第2次伊藤博文内閣の内務大臣であった井上馨は消防組規則の法令案を閣議に提出、その審議を伊藤らに求めた(国立公文書館所蔵『公文類聚 第十八編 明治二十七年 第四十巻』)。全国の警察・

消防行政を統轄する内務省警保局は、水火災の警防以外に消防組織が用いられている点を問題視し、構成員の人事権等を掌握することで、統制の強化を図ったのである。

また、警察の統制下でない消防組織の廃止をめざしていった。同規則の法令案は修正の後、2月9日に明治天皇の裁可を得て公布され、さらに翌10日には、内務省は省令で消防組規則施行概則を制定、消防組規則の細部を補った。これらの法令に基づき、5月6日、神奈川県も消防組規則施行細則を県令で制定、続いて翌7日には「消防組設置区域名称人員表」を定める。こうした制度改革によって伊勢佐木消防組、石川消防組、山手消防組の3つの公設消防組が誕生した。

石川町警察署(現・南警察署)の管轄区域を担当する石川消防組は別として、伊勢佐木消防組と山手消防組はそれぞれの消防団の源流にあたる。前者は組頭1人、小頭11人、消防手102人の計114人から構成され、伊勢佐木町警察署管内を担当する第1部と、戸部警察分署管内を担当する第2部の二つの隊に分かれていた。一方、後者は組頭1人、小頭4人、消防手40人の計45人から構成され、山元町・千代崎町・上野町・諏訪町の4町を担当した。続いて翌95年3月23日、「消防組設置区域名称人員表」が改正されると、新たに加賀町警察署の管轄区域を担当する加賀町消防組(組頭1人、小頭2人、消防手31人、計34人)と、山手本町警察署管内の外国人居留地を担当する山手本町消防組(組頭1人、小頭2人、消防手33人、計36人)が誕生する。これらに加え、居留外国人によって運営される居留地消防隊が横浜の消防を担うことになった。

### 消防署の誕生

水道消火栓の普及によって火災の被害は減少していったが、消防技術をそれに依存したため、断水の際は対処不能の状態となった。1899(明治32)年8月



左から：伊勢佐木、加賀町、山手各団長



12日夜に発生した雲井町大火(焼失約3200戸)では、夏期の夜間断水のために放水ができず、大きな被害を出した。火災は居留地消防隊の蒸気ポンプの活躍で鎮圧され、周辺の消防組の来援もあって鎮火した。この災害を教訓に、横浜市は蒸気ポンプや腕用ポンプの再配備を進めることになる。一方、同年10月31日、外国人居留地の撤廃に伴い、居留地消防隊は「薩摩町消防組」と改称、引き続き、居留外国人が費用を負担したものの、消防組規則に基づき運用されることになった。その後、横浜市が蒸気ポンプを導入すると、神奈川県警察部は1909年11月1日に伊勢佐木消防組常設隊を新設する。非常備の消防組と異なり、専従で蒸気ポンプを運用する部隊が誕生したのである。

大正初期、常備消防、すなわち消防署を備えた都市は東京市と大阪市の2つに限られた。災害の減少をめざす内務省警保局は東京・大阪以外の六大都市、すなわち横浜市、名古屋市、京都市、神戸市への消防署設置を模索していた。それに対し、神奈川県会は財政難を理由に反発したが、1919(大正8)年4月28日に埋地大火(焼失約3200戸)が発生すると、方針を転換する。この災害では、複数の出火点から燃え広がり、警視庁消防部の消防ポンプ自動車も来援するなど、消火活動は困難を極めた。同年7月16日、特設消防署規程が制定され、東京市を除く六大都市への消防署設置が義務付けられた(国立公文書館所蔵『公文類聚 第

四十三編 大正八年 第三巻』)。これに伴い、8月29日、神奈川県は特設消防署規程施行細則等の法令を整備、新設の第一消防署(現・西消防署)と、薩摩町消防組の装備・施設を引き継いだ第二消防署(現・中消防署)が設置されるなど、常備消防の開設にむけた準備を加速させていった。ここで消防組の管轄は警察署から消防署へ移管され、伊勢佐木町消防組は第一消防署、山手・山手本町・加賀町の3つの消防組は第二消防署の担当となった。加えて、第二消防署には、元薩摩町消防組の構成員によって組織された特置消防組も置かれた。

9月1日午前10時30分、神奈川県庁の議事堂において消防署開設の式典が催された。そこで警察部長の大森吉五郎は、消防署の開設について、「時代の要求に対応すべき大規模の消防機関を完備せしめんがため組織されたる公共的事業なれば、諸君は決して誤解の念を抱かず、従前に倍し本市火災防遏の為め尽力せられたし」とした上で、「諸君は決して在来の各町内消防組が今回の官設消防署の為め消滅に帰したるものゝ如く理解し、万一の場合に双方意志の疎通を欠くが如き事なからんを切望す」と、消防署と消防組の連携を求めている。火災の拡大を防ぐには、常備消防と非常備消防の協力が不可欠であり、これは現在の消防署と消防団との関係にも通じている。ただし、専門の消防署が開設されたことで、消防組の人員は従来の3分2以下に減らされることになった。

## 潤滑油と触媒

防災を滑らかに伝え、周りを触発する手法アレコレ

今回の触発キーワード

『消防用設備等と防火管理者の役割～日常点検の重要性～』

管理権原者から選任された防火管理者の業務は、消防法で定められていますが、その中で、消防用設備等の点検及び整備は、いつでも正常に作動するように防火管理者の重要な業務の一つとして位置づけられています。

当協会が消防局からの委託を受けて実施している、防火・防災管理新規併用講習では、事業所の実態に合った実効性のあるものとして、消防用設備等の消火設備、避難設備について実技を体験してもらうと共に、自主点検の重要性を訴えかけています。

たとえば、消防用設備等の中で、熱、煙、炎によって作動する自動火災報知設備は、火災発生の報知を主目的とするほか、その作動信号が他設備の連動等にも活用され重要な設備として担っています。

このように消防用設備等は総合的なシステムとして防災対策を有効に機能させる大切な設備ですから、火災時にすぐに機能が発揮できるように、防火管理者は対応すべき消防用設備等の構造、取扱方法を理解して、万一、火災が発生した場合に予防措置が講じられるよう、日常点検項目の適正な管理が重要となります。

このことから、日頃から行う防火管理者の点検は、消防用設備等の信頼性の向上や、防災対策の進展につながっていくものといえます。(T)



# 「減災新聞」の視点

神奈川新聞論説委員 渡辺 渉



能登半島地震で倒壊した住宅=1月、石川県七尾市（神奈川新聞社・井口孝夫記者撮影）

## 「命守る住まい」を増やす

「お正月で、帰省した家族が団らん中だった。そして、重い瓦屋根の家が多かった」。震度7を記録した能登半島地震から2週間余りが過ぎた1月半ば、横浜で専門家らを対象とした講演会が開かれた。タイトルは「建物の耐震化のポイントを考える」。登壇した名古屋工業大の井戸田秀樹教授は、つぶれた家で犠牲になった人の多さを指摘した。「その割合は阪神大震災や熊本地震以上だ」

元日の夕刻に発生し、不運が重なった能登半島地震。これまでに240人以上の犠牲者が出ているが、石川県が1月中に氏名を公表した129人の9割近い111人が住宅の倒壊に巻き込まれていた。

激しい揺れで露呈したのは、耐震化の遅れだ。犠牲者が多かった石川県珠洲市の住宅耐震化率は約51%(2018年度)。輪島市は約45%(2019

年度)と全国平均を大幅に下回っていた。

一方で、住宅耐震化に対する珠洲市の補助額は最大200万円、輪島市では最大150万円と手厚い。にもかかわらず、耐震化が進んでいなかった要因の一つに、40~50%台に達している両市の高齢化率の高さが挙げられる。

老朽化した住宅に高齢の世帯がひっそりと暮らす。そんな居住実態が垣間見える中、備えの意識をいかに高め、耐震化に結びつけていくか。全国共通の課題だが、取り組みの成果や工夫には地域差がある。

横浜市住宅耐震化率は推定で93%(2021年)。珠洲市や輪島市と比べるとかなり高く、全国的にも高水準だが、だからといって安心できるわけではない。一戸建てと共同住宅の耐震化率を別々に試算すると、共同住宅が96%に達しているのに対し、一戸建ては88%にとどまる。横



浜は住宅の総数が多いだけに、耐震性が不足していると推定される住宅はなお約 11 万戸もあり、その約 3 分の 2 の 7 万戸を一戸建てが占めている状況だ。居住者の高齢化が一段と進む中、耐震性不足の住宅を「おおむね解消する」との目標達成は難しさを増していると言わざるを得ない。

古い住宅が抱える耐震性の問題を浮き彫りにしたのは、真冬の未明に起きた 1995 年の阪神大震災だった。現行の「新耐震基準」を満たしていない 1981 年以前の住宅が相次いで倒壊し、寝ていた人々の命が奪われた。犠牲者は 6400 人余り。住まいが「凶器」になったと指摘された。

以来、強度の足りない住宅を補強する耐震化の助成制度を自治体が設け、家主の負担軽減を図ってきた。しかし、「阪神」から 30 年近くを経た今もなお、完了していないのが実態だ。震度 7 を 2 度観測した 2016 年の熊本地震でも、同様の問題点がクローズアップされ、取り組みの成否が問われた。

壁や柱などを補強する耐震改修の費用は、家の大きさや工事内容によって異なるが、数百万円ほどかかる。自治体の補助がその一部を穴埋めする形になってはいるものの、さらにハードルを下げる視点が不可欠だろう。

「人が亡くなる要因はさまざまあるが、やはり住宅が壊れないようにすることが大切だ」。



能登半島地震後、横浜で開かれた耐震講演会。名古屋工業大の井戸田教授が一層の工夫を呼びかけた=1月、波止場会館

横浜の講演会で、井戸田教授は強調した。その上で、住まいの強度を的確に把握する診断方法を広げ、無駄な工事を省くとともに、施工しやすい合板などを活用する手法を提案した。安価な上に工期を短縮できるとあって、高知県などで成果が出ているという。

一方で、「神奈川県では、こうした手法が補助対象になっていない」と課題も指摘した。基準を満たさなくても、そこに近づける補強を認め、段階的な改修を促す手法も選択肢になるはずだ。家全体でなく、部分的に安全な空間を確保する耐震シェルターや防災ベッドは補助対象となっているだけに、さらに工夫を凝らしたい。

安全な住まいがなければ、命は守れない。人々が命と暮らしをつなげなければ、地域も守れない。被災地の教訓に学び、地震対策の基本を徹底させるための知恵を集めたい。

## 令和5年度 防災講演会開催報告

### 演題 関東大震災100年 横浜港と関東大震災

- ① 震災前の横浜港
- ② 震災発生時、横浜港では何が起きたか
- ③ 船による救助活動
- ④ 関東大震災による港の変化

日時 令和6年2月9日(金)  
◆15:00~16:30

場所 神奈川県立かながわ労働プラザ  
3階多目的ホールB  
横浜市中区寿町1丁目4番地  
TEL 045-633-5413



講師：横浜みなと博物館  
学芸員 三木 綾氏

主催：公益社団法人横浜市防火防災協会  
後援：横浜市消防局



会長あいさつ



講演の様子

# 第10回

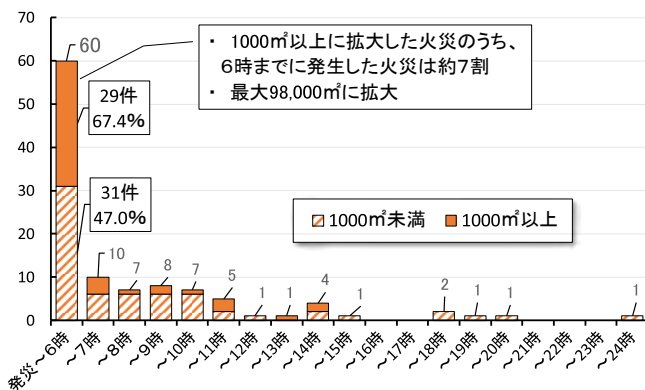
## 防災の取り組みに アシスト

### 地震時の大規模火災は 1件の火災から

本年1月の能登地震では輪島市で4件の火災が発生し、そのうち1件の火災が消火できずに約5万㎡を焼失する大規模火災になりました。この火災では、地震発生直後に大津波警報が発表されて避難を優先することが余儀なくされたことから初期消火の活動ができなかったこと、消火栓や防火水槽の採水口が壊れた建物等の下になり断水も加わって使えなくなったこと、更には津波や隆起等の影響で川からの吸水が困難になったこと等が重なり、住民による初期消火を始め、消防署や消防団の活動に支障となつたとされています。

火気使用設備等の多くは対震機能が取り付けられ、都市ガスやプロパンガスにはマイコンメーターがつけられるなど、地震時の出火防止対策は着実に進んでいます。やはり地震時には大規模火災を抑えることは難しいのでしょうか。

図1 阪神淡路大震災の神戸市における火災の発生状況(阪神淡路大震災の記録(消防庁)から作成)



## 阪神淡路大震災等における火災の状況

阪神淡路大震災が発生した1月17日の神戸市における火災の発生状況(図1)を見てみると、地震直後の6時までに60件の火災が発生し、そのうち約半分の29件が1,000㎡以上の大規模火災に発展しています。そして、兵庫区で発生した1件の火災は約10万㎡にも拡大しています。当日発生した火災で1,000㎡以上に拡大した火災は、6時までに発生したものが約7割を占めています。

一方、関東大震災の横浜市における火災の発生時刻(図2)を見てみると、本震及び規模の大きい余震(当時の呼び方)の直後に多くの火災が発生し、約30分の間に約7割の出火が記録されています。これらの火災がその後大きく拡大し甚大な被害となったことは承知の通りで、阪神淡路大震災と併せ、初期消火の難しさが浮かび上がってきます。

輪島市の火災では、住民の証言によると「防災無線で大津波警報が出たことを知り避難先に向かう途中で、煙が立ち上がっていた」とし、また1時間余が経過した頃には、2軒の建物が燃えているのを消防職員が見ていることから、地震発生から間もなくして火災が発生していたと考えられます。

## 初期消火の実施状況

阪神淡路大震災で発生した火災の初期消火の状況を調査したデータ(図3)では、約半数の火災で初期消火が行われておらず、その割合は平時の火災よりも高くなっています。地震時は、輪島市のように避難や救助が優先されたり、建物が崩れて消火器が使えなくなったり、ライフラインが遮断されて固定消火設備等が使えなくなったりしますので、初期消火ができない要因が多くなります。

図2 関東大震災における横浜市の出火状況(大正大震災火災誌(神奈川県警察本部編纂)から作成)

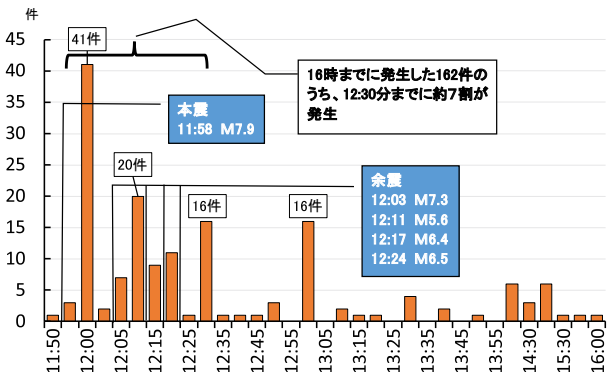
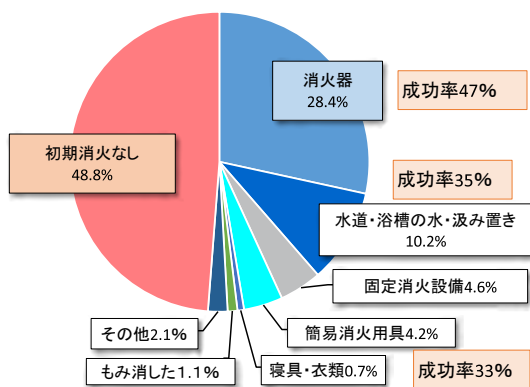




図3 阪神淡路大震災において初期消火に使ったもの(火災件数285件)(阪神淡路大震災調査報告 建築編-6から作成)



ただ、阪神淡路大震災では、初期消火器具として消火器の使われた割合が高く、しかもその成功率は最も高くなっており、震災時の消火器の有効性を物語っています。

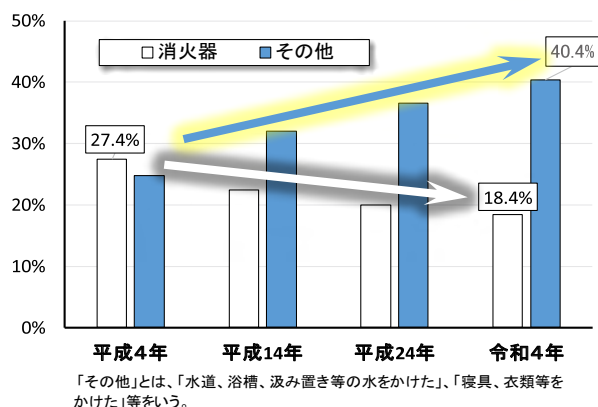
### 全国の火災における消火器具の利用状況

最近30年間における全国の火災における消火器具等の使用状況(図4)では、消火器の使用割合が減少し、水をかけたとか寝具をかけたという割合が増加しています。これは消火器の設置義務がない住宅での火災が増加していることが影響していると考えられますが、地震時の初期消火への対応が心配になります。

火災の際に消火器を使わなかった理由としては、消火器が近くになかった、気が動転して消火器が置いてある場所が思い出せなかった、いつも消火器が置いてあるはずの場所に消火器がなかった、そもそも消火器を設置していなかったなどが考えられます。

戸建て住宅における消火器の設置について正確なデータを見いだすことはできませんが、消火器工業会の最近の調べによると一戸建て等における消火器の保有率は約41%であったとされており、またリサイクルシステム年次報告書でもほぼ同様のデータが示されています。このことから、設置率が80%を超えている住宅火災警報器と比較すると、低いという印象があります。

図4 全国の火災における消火器の使用状況(消防白書から作成)



### 【まとめ】

小さなキャンドルに揺らめく炎は息を吹きかければ消すことができますが、もしそれが可燃物に引火し10分もすれば消火器で消せなくなり、更に10分もすれば消防車1台でも消すことができない程度に拡大します。これが火災の特徴でもあり恐ろしさです。

火気使用設備等に対する安全な機能の付加等が進み、地震時の出火件数が少なくなることが期待されますが、もし1件の火災でも初期消火がされなければ大規模な火災となって、救助できる人も救助できなくなってしまう可能性は常にあります。

大規模な地震時は、消防署も被災することがあり道路の被害等もあって、火災が発生し拡大を始める地震発生初期の時間帯には消防署も活動を始めることができません。

地震時の大規模火災を防ぐには、市民や事業所の方々の初期消火行動と周辺建物で煙が上がっている場合に協力して消火しようとする意識の高揚が鍵になります。この機会にもう一度、消火器の設置や活用そして初期消火について考えてみては如何でしょうか。



小野 和夫

防火管理者  
必携!

## 令和5年版「消防関係法令集」販売中

- 防火・防災管理の業務を行う上で必要となる消防関係の法令を網羅した実務書です。
- 横浜市火災予防条例も編さんされており、法令、条例、両面の規制が把握できます。
- 監修／横浜市消防局予防部予防課
- サイズ／A5 ● 重さ／約1,200g

3,100円(税込)  
(当協会会員 2,800円)



### 購入方法

- 1 当協会窓口で購入
- 2 宅配を希望  
(送料等の御負担をお願いします。)

### 問い合わせ先

電話 045-714-0920  
(総務課)



「横浜市防火防災協会」のホームページにご案内と注文用紙がありますのでご活用ください。

# 令和6年能登半島地震に伴う緊急消防援助隊の派遣について

横浜市消防局 警防課

令和6年1月1日に発生した最大震度7の「能登半島地震」に伴い、消防庁長官から緊急消防援助隊神奈川県大隊に対する出動の指示を受けて、緊急消防援助隊として同年1月3日から2月13日まで37日間にわたり横浜市消防局の部隊を次のとおり派遣しました。

## 航空消防隊の派遣



1月2日5時に航空小隊の「はまちどり2」に出動の指示が出され、翌日13時に横浜ヘリポートから小松空港へ進出、主要道路が寸断された輪島市や能登町において、老人福祉施設からの負傷者搬送や孤立地域への消防隊員の投入、物資搬送など消防ヘリコプターの機動力を最大限に発揮した活動を行いました。

被災者搬送の状況（小松空港）

## 神奈川県大隊（陸上部隊）の派遣

陸上部隊は、1月8日8時に神奈川県大隊に出動の指示が出され、同日12時に小型で走破性が高い、震災救助隊2隊を自衛隊輸送機で入間基地から小松空港へ空輸で先行進出させ、9日に神奈川県大隊が陸路で被災地へと入りました。

陸上部隊は輪島市名舟町、町野町、市ノ瀬町の土砂災害による行方不明者の救助活動や輪島朝市通りの火災現場での捜索活動、輪島消防署管内の救急搬送や巡回警戒などの支援活動を実施しました。

土砂災害の現場は大規模な崩落により、道路が寸断され、重機が入れない場所や、二次崩落の危険性のある場所、雪深い山道を約1時間歩いてたどり着く場所など困難を極めました。助けを求める人がいる限り任務を全うするという使命感を持ち活動に専念しました。

神奈川県大隊の派遣は2月13日まで続き、延べ557隊1,899人が出動し、横浜市消防局からは延べ144隊541人が出動しました。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、復旧、復興が進み被災された方々の生活が1日でも早く改善されることを願います。



自衛隊輸送機による震災救助隊の派遣（埼玉県 入間基地）

## 土砂災害での救助現場（輪島市町野町） まちなち



山道を徒歩にて



救助現場での活動の様子



## 中消防団誕生！

横浜市中消防団

### 「消防団に誇りと責任を！」 歴史と経験に学び、教訓を生かす。 消防団内部から自発的に芽生えた中区3消防団の統合

130年という長い歴史を誇る中区3消防団(伊勢佐木消防団・加賀町消防団・山手消防団)が1つになり、令和6年4月1日に中消防団が誕生した。ここにいたるまでには、各消防団長の粘り強い話し合いがあった。結論は、「市民の生命、身体や財産を守るという崇高な使命を果たすため、指揮命令系統を一本化し、来る大規模災害に一刻も早く備えるべき」というものだった。

東日本大震災では、消防団員が大いに活躍する一方、危険情報が行き届かず、254人も消防団員が犠牲になった。消防団員の安全を確保した上で使命を全うすること。何より人命こそが復興の礎になるのだと我々は教えられた。中区3消防団の長い歴史と良き伝統を受け継ぎ「消防団に誇りと責任を！」という想いのもと、消防団をさらに強い組織に変え、将来を担う優れた人材の育成に一層取り組み、地域防災のリーダーとして、使命遂行に邁進する所存である。



左から：伊勢佐木消防団 永田団長  
加賀町消防団 高橋団長  
山手消防団 添田団長

## 横浜市消防音楽隊「躍進～明るい未来へ～」

横浜市消防局 横浜市民防災センター

横浜市消防音楽隊は、1958(昭和33)年に横浜開港100周年、市政70周年を記念して創設され、昨年度に65周年を迎えることができました。そして、令和6年3月16日には、これまで応援していただいた皆様に感謝の気持ちを込め、「躍進～明るい未来へ～」をテーマに、横浜市消防音楽隊創設65周年記念演奏会を開催しました。

当演奏会では、ダイナミックかつ表現力豊かな音色とともに、「ポートエンジェルス119」の新しいパレード服での華麗で躍動感あふれるドリル演技を初披露し、未来に向けた新たな一歩を踏み出しました。

これからも消防音楽隊は、市内各所における演奏・演技を通じて『安全・安心を実感できる都市ヨコハマの実現』のため、防災啓発活動に邁進してまいりますので、変わらぬ御支援をどうぞよろしくお願いいたします。



新パレード服：(左)冬用・(右)夏用



【問合せ】 横浜市消防局横浜市民防災センター **Tel** 312-0119 **Fax** 312-0386

横浜市消防音楽隊HP

# 「人的エラーからの脱却 VIII」

リスクマネジメントコンサルタント

代表 岡田 康裕



2023年9月、ニュースに何度となく取り上げられた事故が、異なる業界ではあるが、連続して発生した。

9月19日JR東京駅近くの中央区八重洲の再開発地区のビル建設現場で、15トンの鉄骨が落下する事故が発生。7階部分で作業していた20～40代の男性作業員5人が鉄骨とともに3階部分に落下。5人のうち2人が死亡し、3人が重軽傷を負った。業務上過失致死傷容疑で現場検証が行われているという報道。

青森県八戸市の弁当製造会社の駅弁を食べ、体調不良などを訴えている人が全国で相次いでいる問題。全国の有名百貨店やスーパーなどで開催される食のイベントに商社を通じて商品を出荷とのこと。29都道府県521人が体調不良。商品に異常が生じたのは駅弁の製造過程か流通過程か不明であり、全容解明と原因究明が必要とされるとの報道。

ここで、コメット連続墜落事故のことに触れておきたい。1952年5月2日に世界初のジェット機による商業運行が開始された。プロペラ機より所要時間が半分程度になるなど航空業界にとっては革新的な航空機でありコメットという愛称で人気であった。就航から1年後の1953年5月2日にシンガポールからロンドンに向かう途中で墜落事故が発生。機体が空中分解し、乗員乗客43名全員死亡。悪天候に対処する際のパイロットの操縦ミスによるヒューマンエラーと推定された。さらに1954年1月10日同様の空中分解墜落事故が発生し、乗員乗客35名全員が死亡。原因究明が行われたが原因不明のまま運行が再開され、さらに1954年4月8日墜落事故が発生し乗員乗客21名全員が死亡。いずれの場合も航空機の金属疲労が起こるよりも短い飛行時間であることから、航空機自体に問題があると考えられた。

このことから、大規模な水槽実験が実施された。その結果、機体客室窓の隅から亀裂が発生し空中分解するメカニズムが判明した。現在の窓は、楕円に近い形であるが、コメットは四角に近かったようである。

事故の原因を特定しようとする行為は容易ではないということである。

企業の事故調査では原因から対策までのストーリーを求められ、ステイクホルダーに対しての説明にならざるを得ない場合があることは理解できるが、きれいごとではない違和感を無視しがちなことを忘れてはならない。

事故の原因を理解し、有効な再発防止策を立てるためには、その時その現場にいた人の気持ちに立たなければならない。調査者は事故の結果を把握しており、後知恵ができているために調査はそれほど簡単なことではないのである。インタビューのポイントは、正直に話してもらうことにつけるが、当事者は緊張もあり、自己保身もあるなかで、法的強制力や罰則の担保のないままの調査は容易ではない。ヒューマンエラーの非懲戒制度を導入している企業もあるが航空業界などの限られた業界になる。





# 防災よもやま話 第2回



横浜市防火防災協会  
専務理事

山田 裕之

## 防災士学習のススメ

令和6年の元日を襲った能登半島地震。いつどこで発生してもおかしくないと分かっていても、これがまさか、平穏で健やかな一年を祈り、最も心穏やかに過ごす元日とは…。まさに大地震への「覚悟」を突き付けられました。被災地の皆様に改めてお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

さて、今回は、私が防災士を志した背景や勉強の一端などを紹介させていただきます。

定年退職を前にセカンドキャリアへの思いを巡らす中、消防で学んだ知識や経験を無駄にたくない。少しでも社会で役に立てばいいな。そのためにも頭に詰め込んだままの情報を棚卸しし、体系的に整理し、不足する分野を認識し学び直そう。そうした意欲が強くなりました。それなら「防災士」の資格取得が最も効果的、実践的ではないかと考えたことが、防災士の学習に取り組むきっかけとなりました。

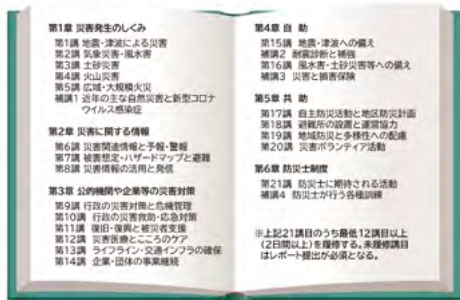
資格の取得は、研修講座の受講から始まります(図1)。日本防災士機構のガイドラインに沿ってカリキュラムが構成され、各専門家が講師を務めます。教本に示される21講目のうち最低12講目を2日間の集合研修で履修し、残りの講目にはレポート作成の提出が義務づけられています(図2)。

講座の2か月ほど前に教本とレポート課題が届きました。その分厚さに一瞬たじろぎましたが、教本を広げると、目次には幅広い分野が網羅され、執筆者はその道の第一人者ばかり。早速、読み進めると、私の知識がアップデートされていないこと、まだまだ知らないことがたくさんあることに気づかされるなど、反省とともに知的好奇心がくすぐられ、ページをめくるワクワク感を感じながらの学習となりました。

図1 防災士資格取得の流れ



図2 防災士教本の内容



次回以降に紹介したいと思いますが、集合研修も刺激的でした。大地震が避けられないなら正しく怖がるしかありません。それには正しい知識が必要です。消防の時代に何度も自身を戒めた「基本なくして応用なし」を再確認する有意義な機会となりました。

「防災士の学習」、おススメです。皆さんもいかがですか。



## 防火防災 協会におまかせ!

### 防火対象物定期点検・防災管理点検は 横浜市防火防災協会へご用命ください!

当協会会員様には、点検料金もご相談に応じますのでお気軽にお問合せください。

横浜市防火防災協会 防災支援課 <https://www.ydp.or.jp/consulting/>  
TEL 045-714-0929 担当：滝沢・河原



防火・防災  
コンサルティング

事務局職員の趣味の紹介

# 私の趣味

## No.8 バイクツーリング

防災支援課 滝沢 宏

消防局を定年退職後しばらく遠ざかっていたバイクツーリングを再開しました。愛車はホンダグロム125cc、一般道をトコトコ走る単独ツーリングを年に2、3回楽しんでいきます！2023年12月27日から2泊3日で伊豆半島ツーリングに出かけたので紹介します。今回は“海鮮丼ツアー”を目的に出発しました。

### 【12月27日 自宅(相模原緑区～伊豆下田港)】

自宅を出発し圏央道相模原インターを左に見ながら30分ほど走ると宮ヶ瀬虹の大橋に到着する。ここは私の好きなスポットだが今回は先が長いので湖を走り抜け、湘南二宮からしばらく国道1号線を小田原に向かう。風は多少強いが快晴、相模湾は穏やかで爽快である。真鶴港での海鮮丼を楽しみにして走ると、小田原で既に11時になり早川港で昼食をとることにした。

早川漁港内の“魚市場食堂”があいにく休みだったので、港の食堂街を散策し、“お食事処 かが平”で海鮮丼をいただいた。ネタはまぐろ、えび、あじ、いくら、貝類などなど、私的にはエビが美味しかったなー。70代のご夫婦？が営業される客席15席ほどの落ち着いた食堂で、12時頃になると数名が入店を待っていた。

国道135号線を熱海に向かう。ビックバイクなら真鶴道路を走るのがだろうがマイバイクは125ccなのでバイパス、有料道路は走れない。だが、湯河原から伊豆山を抜け熱海に出る一般道は、ほどよいスラロームコースで楽しい走りができる！さらに伊東から川奈、熱川、稲取、白浜を抜ける。この海岸線は昔とあまり変わらない風景で懐かしく、また、伊豆は温泉街道だと思いながら快走する。道の駅開国下田港で休憩し、一泊目の下田海浜ホテルに17時頃到着した(自宅から走行160km)。



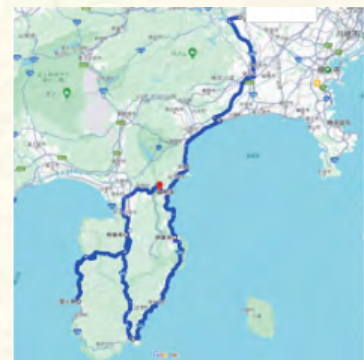
海鮮丼(早川港・かが平)



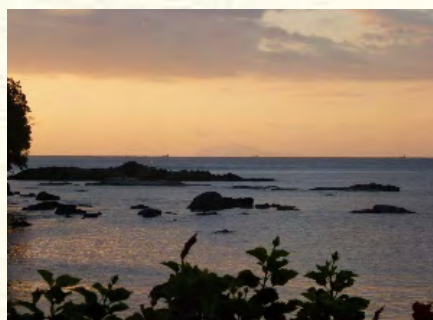
早川港食堂街風景



ホンダグロム125cc



ツーリングルート



下田海浜ホテル夕日



下田海浜ホテル前グロム

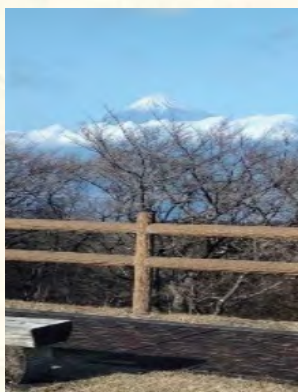
### 【12月28日 下田～修善寺～西伊豆堂ヶ島】

ホテルを出発し1km程の所に「ペリー艦隊来航記念碑」に寄ってみた。1854年日米和親条約締結のためにペリーが上陸した場所に建てられており、ペリー像と併せて、“日米友好の灯”やアメリカ海軍から送られた“錨”が設置されている。

今日は“修善寺”を中心にワインディング走行を楽しむこととした。下田から国道414号線(天城街道)を修善寺に向かい、狩野川に沿って北上し河津七滝、天城峠、湯ヶ島を抜ける。修善寺に近づくナビが伊豆縦貫自動車道をしきりに案内するが125cc以下は通行禁止なので我がグロムでは走れない。ナビは無視して、414号線から県道18号線に左折し修善寺に到着、昼食を摂り長めの休憩をする。



修善寺から西伊豆戸田港までの県道18号線が私の大好きなコースである。“緑の中の爽快ワインディング”が楽しめる。今回は戸田峠を過ぎ下りにかかった所を左折し、船原西浦高原線を走ったが交通量も少なく楽しめるルートであった。西浦古宇からUターンし戸田峠に戻り戸田港に下った。ここから国道136号線の海沿いを南下し2泊目の宿である堂ヶ島温泉ホテルに到着した。ワインディングを十二分に楽しんだが疲れた～。(本日の走行約140km)



だるま山高原から富士山



ペリー艦隊来航記念碑



戸田峠から見た戸田港と駿河湾

## 【12月29日堂ヶ島～戸田港～修善寺～熱海～自宅】

最終日、今日は“海鮮丼”を食べなければ旅の目的が達成できない。ホテルの朝食はパン1個とコーヒーで我慢した。ツーリングマップを見ると戸田港は名物高足ガニと紹介されている。30年も前の話になるが緑消防署の大先輩と伊豆観光をした際、高足ガニを食べさせていただいた記憶が蘇り、戸田港で海鮮丼を食べることとした。

国道136号線土肥から県道17号線に入る。海岸線沿いには恋人岬、旅人岬、煌の丘など絶景の富士山スポットがあり走りながらも十分楽しめた。

11時ごろ戸田漁港内の駐車場にグロムを止め、網元光徳丸直営“お食事処 かにや”に寄った。予約で満席とのことで30分程待たされたが、海鮮丼のネタは、まぐろ2種、かつお、かに、えび、うに、いくら、たこ、つぶ貝…あとは名前が分からない。大変美味しく腹いっぱい満足です(2,750円)!

さあ、修善寺に戻り、国道414号線から県道11号線熱海函南線に入ると熱海市に向かい急勾配の下り坂が続くエンジンブレーキ全開で走り抜ける。

熱海からは往路と同じく、国道135号線を小田原、二宮から県道71号線、国道246号線、県道64号線を走り宮ヶ瀬湖に着いた頃はすっかり日が暮れ、自宅到着は18時を過ぎていました(本日の走行約170km)。

合計走行距離470kmは2泊3日としては決して長くはありませんが、何種類かのワインディングを楽しめたことと、何より、目的とした“海鮮丼”を美味しく食べられたことに十分満足できた伊豆半島ツーリングでした。



堂ヶ島温泉ホテル



ホテルから朝日



御食事処かにや 海鮮丼

## 横浜市防火防災協会 入会のご案内

当協会の目的に賛同されて入会を希望される個人、法人(団体)については、随時、入会を受け付けています。

■ 会員になりますと、防火防災に役立つ情報や消防関連各種講習会の開催案内などの提供を受けることができます。

提供される主な情報や案内は、次のとおりです。

1 防災広報誌(年4回) 2 火災予防ポスター(年2回)

3 消防法、横浜市火災予防条例の改正情報

4 当協会が開催する消防法に基づく資格取得講習や応急手当普及啓発講習の実施計画

5 防災をテーマとした講演会、セミナー研修への参加案内

6 防災先進施設等の視察研修への参加案内

7 防災関係図書、防災グッズ等の紹介、案内

■ 会員には「正会員」と「賛助会員」の2種類があり、入会時に選択することができます。



		入会金	年会費
正会員	総会の議決に参加できる会員です。	10,000円	12,000円
賛助会員	当協会を援助していただく会員です。	5,000円	6,000円

お問い合わせ、ご入会の手続き

公益社団法人 横浜市防火防災協会 総務課

TEL: 045-714-0920

FAX: 045-714-0921

Eメール: kyokai@ydp.or.jp





# 新約消防白書

## 日本の常識、世界の常識へ

何気ない日常風景がSNSで一瞬にして世界に発信される。救急車が出場する消防署前、署員が車を止める。救急車がサイレンとともに出場した後、その車に署員は丁寧に会釈する。この何気ない日常の所作が、海外から「礼儀正しい」と注目を集めている。世界的には特異な例なのかもしれない。だが、この行為はこの場面に限ったことではない。

増加する訪日外国人に日本の第一印象をインタビューすると日本人は「礼儀正しく、親切丁寧だ」と驚きを以て語ってくる。かつて、ハーンも、日本人の「親切や好意は(略)、言葉にもできないほど」で「素朴な礼儀正しさ」は「心からあふれ出てきたものである」と『日本の面影』の中に記している。一方、その

古き日本の良さが、西洋文明の影響を受け近代化する新しい日本に、飲み込まれ、失うのではとハーンは憂いていた。だが、訪日外国人のインタビューを見る限り、古き日本は、まだ失われてはいないと期待がもてそうである。

日本は、時代とともに中国、西欧、米国の文化を受け入れることで、独特の文化を育んできたが、日本から世界への文化発信は、得手とは言い難かった。そんな中、19世紀末日本からの荷物(陶器や漆)の詰め物であった浮世絵が、ジャポニズムと呼ばれる日本ブームを起こした例がある。今日では、漫画、アニメ、ゲームなどのポップカルチャーや日本

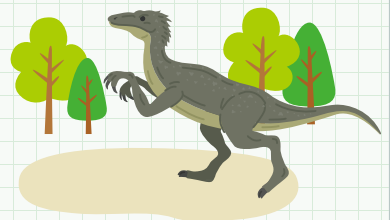
食への関心が世界的に高まり、日本の日常文化が、世界に浸透し始めている。この流れにより、ハーンが消失を憂いた古き日本の文化が、いつしか、世界の当り前になったらSNSを見つつ妄想している。(K)



## 妄言多謝 第26回

ちーちゃんが幼稚園にいる間、じいちゃん(二歳半)のおのすけをバギーに乗せて散歩に行く。行き先はおのすけが決める。今日は公園でバギーを降りた。「じいちゃん、かくれんぼしよう。じいちゃんが鬼だよ」鬼は後ろを向いて「もういいかい」「もういいよ」隠れ場所はわかっている。木陰や草やぶを覗き「あれ、ここかなあ、いないぞ、こっちかな」するとおのすけは「ここでしたあ」と出てきてしまう。見つかるまで待てない。そしてすぐ種目を変える。「じいちゃん、追いかっこしよう」走るのが大好きだ。「じいちゃん、鬼だよ」とおのすけは鬼と安全距

離をとってから鬼の方を見ている。鬼はおもむろに走り出し、とおのすけに近寄るととおのすけは叫び声をあげて逃げる。結構速いのだ。追いつきそうになると叫び声は大きくなる。逃げる。じいちゃんがとおのすけを追うときはいつもベロキラプトルになる。両手の肘を曲げ親指と4指で小さな体のどこかを掴もうとする。じいちゃんはすぐへばるから速度を落とすととおのすけは安全距離まで遠ざかる。繰り返し繰り返し、追いかっこは飽きない。ベロキラプトルはじいちゃんに戻り「とおのすけ、そろそろ帰ろうよ」「やだ」家路についたのはそれから20分後だ。(し)





# 横浜路地裏日記

YOKOHAMA ROZIURA NIKKI

連載 第25回

## 文と写真 ● ジャム

日本で一番海に近い駅。それが横浜にあることをつい最近まで、知らなかった。残念というより、散歩人としていかげなものかと恥ずかしくなる。散歩人て何？

秋晴れの日、勤め人や学生に混じって、横浜駅から京浜東北線に乗り鶴見駅に向かうが、横浜駅を発車してすぐに車両が停車してしまう。車内アナウンスは迅速的確である。川崎蒲田間での信号トラブルのため点検実施中、前の列車が東神奈川で停車している。従ってこ

の車両も線路上に停車。実に人生そのものである。どうするんだ、オレ。

鶴見線は二つの支線を含め13駅あり、全線で9.7

キロメートルの短い路線である。目指すは、「うみしばうら駅」である。鶴見線を都会のローカル線と紹介しているむきもあるようだが、そうであってそうではないという感じである。なにしろ日本を支えてきた重工業地帯を走っている路線なのである。

うみしばうら駅の左側はそのまま海である。間違いなく日本で一番海に近い駅だ。海の先は京浜工業地帯が連なっており、映画の中の作り物のように、鶴見つばさ橋、横浜ベイブリッジが見える。右側は会社の敷地内なので、一般人、散歩人は改札口から外には出られない。駅に隣接して海芝公園があり数か所ベンチが置かれている。トベラの緑の葉が光っていて美しい。支線の終点であるから、折り返しになる。車内の座席に腰かけて海をみる。音が聞こえない。運転士がベルを二回鳴らして出発の合図をした。



わたしのベストショット!!  
撮影:近藤 美樹さん

文化財防火デー  
旧伊藤博文別邸にて

## 朝食はコレ!

当協会事務局員のオススメ 第2回

コメント 今日朝食はサンドイッチです。野菜サンド、卵ハムサンド、ポテトサラダサンド、イチゴジャムサンドの4種類の他に、野菜サラダ、フルーツ、牛乳、ヨーグルトです。実家がパン屋の妻が作るサンドイッチは、ある意味プロの味だと思います。私は、ポテトサラダにソースをちょっとかけて食べるのが好きで、ポテトサラダサンドもこの食べ方はオススメです。サンドイッチはお弁当としてお昼にも食べました。ごちそうさまでした。

オススメイン  
今回の推薦者  
横浜市防火防災協会  
事務局次長兼講習課長  
葦山広志

## 編集後記

新年度となり、各組織や各人が新たなスタートを切る。中区の3消防団も新たに中消防団になった。昨年「ハヤブサ消防団」というドラマがあったが、正に地域を愛し、住民に寄り添う消防団は、この上ない心強い存在。消防団の歴史を紐解く今号の記事からも、社会やその発展を支えてきたことが伝わってくる。連綿と続く歴史や伝統とともに、新たな結束で防火防災に貢献される中消防団に敬意を表したい。(F)

# 講習紹介コーナー 救命講習

## 誰が受講できるの？

### ○普通救命講習Ⅰ・Ⅲと上級救命講習

横浜市内「在住・在勤・在学」の方が対象です。

### ○応急手当普及員新規講習

横浜市内の事業所や自主防災組織等において応急手当の指導をする方が対象です。

※認定を更新される方は、3年以内に再講習を受講する必要があります。

## どの講習を受けたらいいの？

### ①普通救命講習Ⅰ 3時間(半日)

主に成人に対して必要な応急手当の方法を習得

◇基本的心肺蘇生法 ◇ A E Dの使用法 ◇ 気道異物の除去 ◇ 止血法

### ②普通救命講習Ⅲ 3時間(半日)

主に小児、乳児、新生児に対して必要な応急手当の方法を習得

◇基本的心肺蘇生法 ◇ A E Dの使用法 ◇ 気道異物の除去 ◇ 止血法

### ③上級救命講習 8時間(1日)

①や②に加え、さらに詳しい応急手当の方法を習得

◇基本的心肺蘇生法 ◇ A E Dの使用法 ◇ 気道異物の除去 ◇ 止血法

◇傷病者管理法 ◇その他の応急手当

### ④応急手当普及員新規講習 24時間(3日間)

事業所や自主防災組織で普通救命講習Ⅰを指導する知識と技術を習得

◇応急手当の基礎的な知識技能 ◇応急手当の指導要領、指導技法 ◇基礎医学

◇効果測定など ※救命講習修了者等、心肺蘇生法を習得済みの方のみ

「その時のために・・・」 **講習で正しい知識と技術を身につけましょう!!**



#### 電話申し込み

横浜市防火防災協会 045-714-9911  
平日 9時～16時(12時～13時を除く)

#### 横浜市消防局ホームページ(Web予約)

消防局サイト内検索で、「救命講習等Web予約」で検索してください。  
予約ページに進みますので、必要事項を入力してください。

講習の詳しい日程などについては、ホームページをご覧ください。

横浜市防火防災協会

検索

当協会では横浜市等から  
受託し防火防災の各種  
資格取得講習を実施し  
ています

#### ●救命講習(普通救命講習Ⅰ・Ⅲ、上級救命講習、応急手当普及員講習)

- 防火管理者・防災管理者取得講習
- 自衛消防業務講習
- 防火対象物点検資格者講習
- 防災管理点検資格者講習
- 危険物取扱者受験準備講習
- 患者等搬送乗務員講習



# 令和6年度 救命講習日程表

○講習会場は、横浜市民防災センター(防セン)、長津田消防出張所(長津田)、救急救命士養成所(養成所)ですが、会場側の都合等により変更する場合があります。**最新情報はホームページでご確認ください。**

○1年間を四半期に分けて受け付けます。受付開始日にご注意のうえ、お早めにお申込みください。

月別	受付開始日	普通救命Ⅰ	普通救命Ⅲ	上級救命	普及員(新規)	普及員(再講習)
4月	4月3日 (水)	15(月) 午前・防セン 15(月) 午後・防セン 26(金) 午前・防セン 26(金) 午後・防セン	20(土) 午前・防セン 20(土) 午後・防セン 24(水) 午前・防セン 24(水) 午後・防セン 30(火) 午前・養成所	12(金) 防セン 17(水) 防セン 22(月) 防セン		30(火) 午後 救命士養成所
5月		16(木) 午前・防セン 16(木) 午後・防セン 20(月) 午前・防セン 20(月) 午後・防セン 29(水) 午前・長津田 29(水) 午後・長津田	14(火) 午前・養成所 24(金) 午前・防セン 24(金) 午後・防セン	2(木) 防セン 13(月) 防セン 18(土) 防セン 22(水) 長津田 31(金) 防セン	8(水)~10(金) 救命士養成所	14(火) 午後 救命士養成所
6月		5(水) 午前・長津田 5(水) 午後・長津田 16(日) 午前・防セン 16(日) 午後・防セン	21(金) 午前・長津田 21(金) 午後・長津田 27(木) 午前・養成所	14(金) 防セン 18(火) 長津田 28(金) 防セン	10(月)~12(水) 24(月)~26(水) 救命士養成所	27(木) 午後 救命士養成所
7月	6月3日 (月)	1(月) 午前・防セン 1(月) 午後・防セン 8(月) 午前・長津田 8(月) 午後・長津田	22(月) 午前・養成所	3(水) 長津田 5(金) 防セン 10(水) 長津田 12(金) 防セン 16(火) 防セン 20(土) 防セン 24(水) 防セン 26(金) 長津田	29(月)~31(水) 救命士養成所	22(月) 午後 救命士養成所
8月		23(金) 午前・防セン 23(金) 午後・防セン	6(火) 午前・養成所 13(火) 午前・養成所 27(火) 午前・長津田 27(火) 午後・長津田	2(金) 防セン 10(土) 防セン 20(火) 防セン 30(金) 長津田	7(水)~9(金) 救命士養成所	6(火) 午後 救命士養成所
9月		13(金) 午前・長津田 13(金) 午後・長津田 17(火) 午前・防セン 17(火) 午後・防セン 27(金) 午前・長津田 27(金) 午後・長津田	24(火) 午前・防セン	4(水) 長津田 6(金) 防セン 10(火) 長津田 15(日) 防セン		24(火) 午後 防セン
10月	9月2日 (月)	11(金) 午前・防セン 11(金) 午後・防セン 15(火) 午前・防セン 15(火) 午後・防セン 25(金) 午前・長津田 25(金) 午後・長津田	17(木) 午前・長津田 17(木) 午後・長津田 21(月) 午前・防セン	1(火) 長津田 4(金) 防セン 8(火) 長津田 19(土) 防セン 23(水) 長津田		21(月) 午後 防セン
11月		15(金) 午前・長津田 15(金) 午後・長津田 18(月) 午前・防セン 18(月) 午後・防セン	25(月) 午前・防セン 27(水) 午前・長津田 27(水) 午後・長津田	5(火) 防セン 8(金) 長津田 10(日) 防セン 12(火) 長津田 20(水) 長津田 22(金) 防セン 29(金) 防セン		25(月) 午後 防セン
12月		6(金) 午前・防セン 6(金) 午後・防セン 12(木) 午前・長津田 12(木) 午後・長津田	19(木) 午前・防セン	4(水) 長津田 10(火) 長津田 14(土) 防セン 16(月) 防セン 23(月) 防セン 26(木) 防セン		19(木) 午後 防セン
1月	12月2日 (月)	10(金) 午前・防セン 10(金) 午後・防セン 31(金) 午前・長津田 31(金) 午後・長津田	17(金) 午前・長津田 17(金) 午後・長津田	8(水) 防セン 14(火) 長津田 21(火) 長津田 24(金) 防セン 28(火) 長津田		
2月		7(金) 午前・長津田 7(金) 午後・長津田 21(金) 午前・長津田 21(金) 午後・長津田 27(木) 午前・長津田 27(木) 午後・長津田		2(日) 防セン 4(火) 長津田 12(水) 長津田 14(金) 長津田 18(火) 長津田 20(木) 防セン 25(火) 長津田		
3月		5(水) 午前・長津田 5(水) 午後・長津田 26(水) 午前・防セン 26(水) 午後・防セン	7(金) 午前・長津田 7(金) 午後・長津田 11(火) 午前・養成所 21(金) 午前・養成所	3(月) 長津田 24(月) 防セン 28(金) 防セン	17(月)~19(水) 救命士養成所	21(金) 午後 救命士養成所

最新の日程は  
ホームページで確認



<https://www.ydp.or.jp/kosyu01/>

◆講習会場定員

- ◇防セン：普通Ⅰ・上級 45名、普通Ⅲ・普及員再講習 30名
- ◇長津田：普通Ⅰ・上級 24名、普通Ⅲ 20名
- ◇救命士養成所：普及員新規講習 30名・普及員再講習 30名・普通Ⅲ 14名

# 令和6年度 防火・防災管理講習等日程表

◇講習会場「横浜市研修センター」中区山下町72番地の1

月別	甲種防火管理新規講習及び防災管理新規講習を併せて実施する講習	甲種防火管理再講習及び防災管理再講習を併せて実施する講習	乙種防火管理講習	甲種防火管理再講習	防災管理新規講習
4月	第1回 22日(月) 23日(火) 第2回 27日(土) 28日(日)		第1回 30日(火)		
5月	第3回 1日(水) 2日(木) 第4回 7日(火) 8日(水) 第5回 20日(月) 21日(火) 第6回 25日(土) 26日(日) 第7回 27日(月) 28日(火)				
6月	第8回 6日(木) 7日(金) 第9回 10日(月) 11日(火) 第10回 17日(月) 18日(火) 第11回 22日(土) 23日(日) 第12回 29日(土) 30日(日)		第2回 19日(水)		
7月	第13回 1日(月) 2日(火) 第14回 8日(月) 9日(火) 第15回 16日(火) 17日(水) 第16回 20日(土) 21日(日)		第3回 23日(火)	第1回 26日(金)	
8月	第17回 5日(月) 6日(火) 第18回 8日(木) 9日(金) 第19回 13日(火) 14日(水) 第20回 19日(月) 20日(火)		第4回 7日(水) 第5回 17日(土)		
9月	第21回 4日(水) 5日(木) 第22回 12日(木) 13日(金) 第23回 17日(火) 18日(水) 第24回 19日(木) 20日(金) 第25回 21日(土) 22日(日)				第1回 30日(月)
10月	第26回 8日(火) 9日(水) 第27回 10日(木) 11日(金) 第28回 15日(火) 16日(水) 第29回 17日(木) 18日(金) 第30回 21日(月) 22日(火) 第31回 24日(木) 25日(金) 第32回 28日(月) 29日(火) 第33回 30日(水) 31日(木)		第6回 3日(木)		
11月	第34回 1日(金) 2日(土) 第35回 13日(水) 14日(木) 第36回 16日(土) 17日(日) 第37回 19日(火) 20日(水) 第38回 25日(月) 26日(火)				
12月	第39回 2日(月) 3日(火) 第40回 9日(月) 10日(火) 第41回 16日(月) 17日(火) 第42回 18日(水) 19日(木) 第43回 21日(土) 22日(日)	第1回 6日(金)			
1月	第44回 14日(火) 15日(水) 第45回 20日(月) 21日(火) 第46回 24日(金) 25日(土) 第47回 27日(月) 28日(火) 第48回 29日(水) 30日(木)		第7回 31日(金)		
2月	第49回 3日(月) 4日(火) 第50回 15日(土) 16日(日) 第51回 18日(火) 19日(水) 第52回 20日(木) 21日(金)		第8回 12日(水) 第9回 26日(水)		
3月	第53回 3日(月) 4日(火) 第54回 11日(火) 12日(水) 第55回 13日(木) 14日(金) 第56回 21日(金) 22日(土)				

◆受付開始日

各講習の受付開始日については、ホームページを御確認ください。

◆オンライン講習について

令和6年度より、次の講習についてはオンライン講習を行っています。

- ・甲種防火管理新規講習及び防災管理新規講習を併せて実施する講習
- ・甲種防火管理再講習及び防災管理再講習を併せて実施する講習
- ・甲種防火管理再講習

詳しくは、ホームページを御確認ください

横浜市消防局  
公益社団法人横浜市防火防災協会

横浜市防火防災協会ホームページ  
<https://www.ydp.or.jp/kosyu02/>





地元可愛され

# 消防60年

設備業

---



 横浜型地域貢献企業  
 横浜市Y-SDGs認証  
 横浜型地域貢献企業  
 最上位認定を受賞

横浜市磯子区馬場町1-48 ☎0120-963-890

## 横浜消火器株式会社

◆地下埋設タンク・配管の  
気密漏洩検査  
(一般財団法人 全国危険物安全協会 第14012号)

◆産業廃棄物の処理・再生  
各種タンク・ピットの清掃工事  
(弊社でリサイクル可能な廃油は買取り致します)

『ISO14001認証取得』



**三美興産株式会社**  
 〒223-0059 横浜市港北区北新横浜一丁目9番地2  
 TEL 045(549)3551 FAX 045(548)2102  
 URL: <http://www.sanbikosan.com/>






創業50年

消火器・消防ポンプ他  
各種防災機器の販売  
火災報知機他・各種防  
災設備の設計施工・点検


 株式会社 <sup>かんばら</sup> 蒲原商会

横浜市港北区樽町3-1-13  
TEL (045) 542-7266 (代)  
FAX (045) 542-7252


**消防・防災  
機器販売**




**消防設備  
工事・点検**


**防災用品  
販売**


 廃消火器の処分は所定の  
手続きが必要です。  
買い替え・処分は弊社に  
お任せ下さい。




《創業71周年》消火器リサイクル推進センター 特定窓口


**双信消防設備株式会社**  
 横浜市西区中央1-37-24 ☎045-321-1884

消防用設備一式 設計・施工・販売・修理・点検

消火器 漏電警報器  
 自動火災報知設備 屋内消火栓設備  
 避難器具 スプリンクラー設備  
 非常警報設備 誘導灯

株式会社 

## 東横防災商事

〒226-0016  
横浜市緑区霧が丘4丁目2-3-206  
☎(045)921-1244  
FAX(045)923-0677

## 横浜油材株式会社

○石油部：重油・軽油・灯油・潤滑油

○洗剤部：クリーニング工場向け洗剤、資材全般  
・工業薬品、有機溶剤  
(業務用水洗機・ドライ機・コインランドリー設備施工全般)

○工事部：危険物工事設計施工及び解体工事一式

○リサイクル部：中古タンクローリー、中古給油機、  
中古コンプレッサー等

〒245-0018  
 横浜市泉区上飯田町1465-2  
 TEL 045-803-3508  
 FAX 045-803-3594  
 URL: <https://y-yuzai.com/company/>



## 事務作業を「効率化」と「可視化」でDX化する



# AutoPilot

◆パソコンの定型作業(キーボードとマウス)を記録し再現します。

記録した作業は任意の時間に、繰り返し自動実行できます。

複雑な作業も記録すれば、誰でもワンクリックで再現できます。

あらゆるアプリケーションの操作を記録することができます。



個人利用は無料、商用利用は有料です。

詳細説明

Windows PCからダウンロード



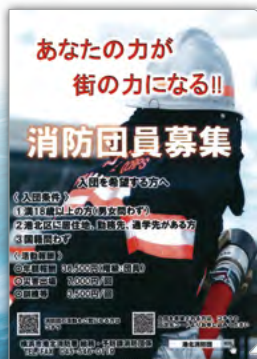
Expert Library Factory (c)  
Mail: [goldman@ymail.ne.jp](mailto:goldman@ymail.ne.jp)

静岡県駿東郡長泉町中土狩 557-52-202 Tel: 090-5038-4581

防犯・防災など地域への発信アイテムをお考えの方は、

デザインは **(株)ナデック** に

印刷は **野崎印刷紙器(株)** へご連絡下さい



クリアファイル



ステッカー



防災カルタ

担当営業がまず  
お話を伺います。

横浜市鶴見区矢向3-15-27 Tel.045-571-3508  
[hongou@nozaki-print.co.jp](mailto:hongou@nozaki-print.co.jp) まで





# 神奈川県民のための火災共済

広告

組合員のみなさまが火災等に遭ったとき、互いに助け合う制度です。



建物 家財 もしもの事態に備える保障

家計に優しい掛金も  
選ばれている理由です！

例えば1,000万円の保障が

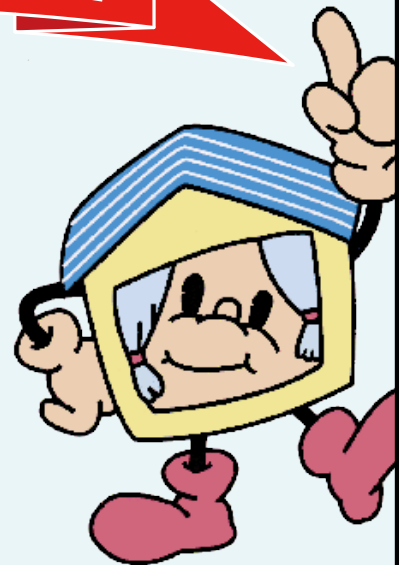
マンション等  
(耐火構造)  
専用住宅の場合  
年間掛金

4,000円

木造・準耐火  
(非耐火構造)  
専用住宅の場合  
年間掛金

8,000円

\*新規にご加入の際、組合員になっていただくため、100円の出資金が必要です。



〈お問い合わせ・資料請求〉 ※広告内容は概要のため、詳細は下記までお問合せください。\*イラストはイメージです。

横浜市孤立予防対策協力事業者

横浜市民共済生活協同組合

横浜市中区日本大通58 日本大通ビル8階

0120-073-203

[受付時間] 月~金/午前9時~午後5時(祝日・年末年始を除く)

▼ HPからカンタンアクセス! ▼

資料請求&  
お見積りシミュレーション  
はこちら!



これさえあれば、すぐに消防訓練ができる!

冊子 **誰でもわかる  
消防訓練**

DVD **誰でもできる  
消防訓練**



- A4判
- 32頁
- オールカラー



併せて使えば  
さらに  
パワーアップ!



- 全17分
- トールケース付

●このDVDのすべての権利は、著作権者に留保されており、これを複製、放送(無線・有線)などすることはできません。  
●このDVDは、映像と音声を高密度に記録したディスクですので、DVD対応のプレーヤーで再生してください。

冊子+DVD  
セット

一般財団法人 日本防火・防災協会 / 監修  
定価1,100円 (本体1,000円+税10%)

詳細は  
こちら!



地震、風水害、原子力災害・・・、  
あらゆる災害への対応から日頃行うべき  
備えまで、家族の命を守るためのこの1冊!

## 防災ガイドブック

～もしものときに備えて!～



- A4判
- 20頁
- オールカラー
- 定価187円  
(本体170円+税10%)

詳細は  
こちら!



近年大きな被害をもたらし、多くの尊い命  
を奪っている風水害。「自らの身は自らが  
守る」ための最初の一步として!

～自らの身は自らが守る～

## 風水害対策BOOK

●監修 公益財団法人 市民防災研究所



- A5判
- 20頁
- オールカラー
- 定価110円  
(本体100円+税10%)

詳細は  
こちら!



東京法令出版 株式会社

お申込みは  
こちらから

インターネットでお申込み  
https://www.tokyo-horei.co.jp/  
(※最新情報等もホームページをご覧ください)

お電話でお申込み  
0120-338-272  
(※携帯電話からもお申込みできます。)

FAXでお申込み

0120-338-923

公益社団法人 横浜市防火防災協会

〒232-0064 横浜市内南区別所一丁目15番1号 BML横浜ビル2階

URL https://ydp.or.jp

FAX 045(714)0921



□ 総務課 TEL 045(714)0920  
□ 防災支援課 TEL 045(714)0929

□ 講習課 TEL 045(714)9909  
□ 救命講習受付 TEL 045(714)9911